エコアクション21

環境経営レポート

(期間　令和３年４月～令和４年３月)

次回の発行予定：令和５年６月末日

令和４年６月１日

協和建設株式会社

徳島県美馬郡つるぎ町一宇字十家４９６－５
TEL　０８８３－６７－２４１０

【目　　次】

１．環境経営方針

２．組織の概要

３．環境経営目標及びその実績

４．環境経営計画及びその取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

５．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟の有無

６．代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

環境経営方針

私どもは、現在問題となっている地球温暖化や、今後に予想される地下資源や木材資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、また地元つるぎ町の環境と誇るべき森林資源の保全のためにも、建設等の事業活動を通して環境負荷の低減を図っていき、自主的・積極的に環境保全活動に取り組み、広く地域社会に貢献していきます。

〈行動計画〉

１．具体的に次のことに取り組みます。

①　電力･自動車及び重機燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

②　建設資材の省資源、廃棄物の３Ｒ（減量、再使用、再生利用）の推進

③　水資源の節水及び水使用量の削減

④　コピー用紙使用量削減等による一般廃棄物の削減

⑤　弊社の事業規模に応じて環境配慮工法等についての推進

２．環境関連法規制等や当社が約束したことを遵守します。

３．　働きがいのある職場づくりに努めます。

４．一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員に周知するとともに、環境経営レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境経営の継続的改善を推進します。

制定日　平成22年12月25日
改定日　　令和4年5月10日

協和建設株式会社

代表取締役　中西　一茂

２．組織の概要

(1)　事業者名及び代表者名

協和建設株式会社
代表取締役　　中西　一茂

(2)　所在地

〒779－4303
本社：　徳島県美馬郡つるぎ町一宇字十家４９６－５

(3)　環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者：　中西　一茂　　TEL：0883-67-2410　FAX：0883-67-2737

連絡担当者　：　中西　一茂　　TEL：0883-67-2410　FAX：0883-67-2737

(4)　事業内容

土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業

(5)　許可について

徳島県知事許可　（般－０３）第２４３号
許可年月日：　令和３年 11 月 13 日
有効期間　：　令和３年 11 月 13 日から令和８年 11 月 12 日

(5)　事業の規模

完成工事高	約	４，７００万円／年（平成２９年度）
	約	７，２００万円／年（平成３０年度）
	約	３，０００万円／年（令和元年度）
	約	４，０５０万円／年（令和２年度）
	約	１０，７５０万円／年（令和３年度）
従　業　員		４名
建物延べ床面積		６６㎡
倉庫延べ床面積		約５０㎡

(6)　事業年度

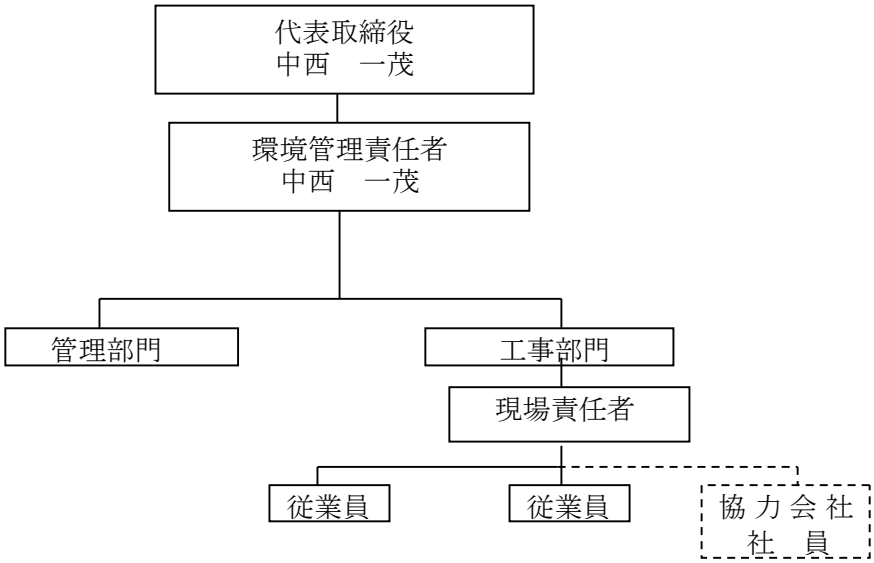
４月１日から翌年３月３１日

(7)　登録範囲

本社

当社の全事業及び全従業員

(8)　環境経営システム組織図



	役割・責任・権限
代表取締役	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な人、設備、費用、時間、技術者等を用意 ・環境管理責任者を任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標の設定を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表／遵守評価記録を作成 ・環境経営計画書を作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標・環境活動実施計画書原案の作成 ・環境経営計画の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
現場責任者	・現場における環境経営システムの実施 ・現場における環境経営方針の周知 ・現場の従業員に対する教育訓練の実施 ・現場の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録 ・現場の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(9)主な環境負荷の実績

項目	単位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
完成工事高	万円	7,221	3,000	4,050	9,770
二酸化炭素排出量	kg-CO2	40,206	45,345	41,539	28,162
一般廃棄物排出量	t	0.327	0.263	0.258	0.202
産業廃棄物排出量	t	59.03	42.60	1.65	37.35
水使用量	谷水使用のため把握不可				
化学物質使用量	Kg	0	0	0	0
資源使用量	t	230.25	1,509.19	364.06	2,234.80

３．環境経営目標及びその実績

（１）環境経営目標

・平成 29 年度を基準として令和 3 年度までの中期目標とする。
・電力由来ＣＯ2 排出量の算定には四国電力(平成 29 年度実績)の調整後排出係数 0.535 kg-CO2/kWh を使用した。
・基準年の完成工事高は、平成 29 年度完成工事高の約 4,700 万円を使用した。

＜事務所＞

項　　目 (排出量を完成工事高 100 万円当りの原単位)	平成 29 年度 H29 年 4 月～ H30 年 3 月 実績(基準)	令和元年度 H31 年 4 月～ H2 年 3 月	令和２年度 H2 年 4 月～ H3 年 3 月	令和３年度 H3 年 4 月～ H4 年 3 月
電力由来ＣＯ２排出量(kg-CO2)原単位	63.3	63.0 目標(－0.5%)	63.0 目標(－0.5%)	63.0 目標(－0.5%)
燃料由来ＣＯ２排出量(kg-CO2)原単位	118.8	118.2 目標(－0.5%)	117.6 目標(－1.0%)	117.0 目標(－1.5%)
一般廃棄物排出量（kg）原単位	7.09	7.05 目標(－0.5%)	7.02 目標(－1.0%)	6.98 目標(－1.5%)
節水チェック実施（水使用量削減）	4 回	4 回	4 回	4 回
グリーン購入(品目)の推進	4 品目	4 品目	4 品目	4 品目

＜建設現場＞

項　　目 (排出量を完成工事高 100 万円当りの原単位)	平成 29 年度 H29 年 4 月～ H30 年 3 月 実績(基準)	令和元年度 H31 年 4 月～ H2 年 3 月	令和２年度 H2 年 4 月～ H3 年 3 月	令和３年度 H3 年 4 月～ H4 年 3 月
燃料由来ＣＯ２排出量(kg-CO2)原単位	814.9	810.8 目標(－0.5%)	806.8 目標(－1.0%)	802.7 目標(－1.5%)
産業廃棄物(t)原単位	1.14	1.13 目標(－0.5%)	1.13 目標(－0.5%)	1.13 目標(－0.5%)
産業廃棄物再資源化率	100%	100%	100%	100%
環境配慮施工の推進　実施率	100%	100%	100%	100%

（２）環境経営目標の実績　令和３年度(令和３年４月～令和４年３月)

・完成工事高については、令和３年度完成工事高の約 10,750 万円を使用した。

＜事務所＞

項　　目	目　標	実　績	目標達成率	評　価
電力由来ＣＯ２排出量(kg-CO2)原単位	63.0 目標(－0.5%)	24.6 (-61.1%)	256.1%	○
燃料由来ＣＯ２排出量(kg-CO2)原単位	117.0 目標(－1.5%)	44.5 (-62.5%)	262.9%	○
一般廃棄物排出量（kg）原単位	6.98 目標(－1.5%)	1.88 (-73.5%)	371.3%	○
節水チェック実施（水使用量削減）	４回	４回	100.0%	○
グリーン購入(品目)の推進	４品目	４品目	100.0%	○

※　赤字は基準年度に対する削減率

＜建設現場＞

項　　目	目　標	実　績	目標達成率	評　価
燃料由来ＣＯ２排出量(kg-CO2)原単位	802.7 目標(－1.5%)	188.2 (-76.9%)	426.5%	○
産業廃棄物(t)原単位	1.13 目標(－0.5%)	0.35 (-69.3%)	322.9%	○
産業廃棄物再資源化率	100%	100%	100.0%	○
環境配慮施工の推進　実施率	100%	100%	100.0%	○

※　赤字は基準年度に対する削減率

【評価コメント】

完成工事高が基準年より大幅に増えたにもかかわらず、電力使用量、燃料使用量、廃棄物排出量がそれほど多くなかったため大幅に目標達成となりました。当社は、受注した工事の規模、内容がまちまちで変動要素が多く、達成度評価が難しいのが現状です。

（３）次年度以降の環境経営目標

・令和３年度を基準として令和６年度までの中期目標とする。
・電力由来ＣＯ2 排出量の算定には四国電力(令和２年度実績)の調整後排出係数 0.574 kg-CO2/kWh を使用した。
・基準年の完成工事高は、令和３年度完成工事高の約 10,750 万円を使用した。

＜事務所＞

項　　目 (排出量を完成工事高 100 万円当りの原単位)	令和３年度 R3 年４月～ R4 年３月 実績(基準)	令和４年度 R4 年４月～ R5 年３月	令和５年度 R5 年４月～ R6 年３月	令和６年度 R6 年４月～ R7 年３月
電力由来ＣＯ２排出量(kg-C02)原単位	24.6	24.4 目標(－1.0%)	24.4 目標(－1.0%)	24.4 目標(－1.0%)
燃料由来ＣＯ２排出量(kg-C02)原単位	44.5	44.1 目標(－1.0%)	44.1 目標(－1.0%)	44.1 目標(－1.0%)
一般廃棄物排出量（kg）原単位	1.88	1.86 目標(－1.0%)	1.85 目標(－1.5%)	1.84 目標(－2.0%)
節水チェック実施（水使用量削減）	４回	４回	４回	４回

＜建設現場＞

項　　目 (排出量を完成工事高 100 万円当りの原単位)	令和３年度 R3 年４月～ R4 年３月 実績(基準)	令和４年度 R4 年４月～ R5 年３月	令和５年度 R5 年４月～ R6 年３月	令和６年度 R6 年４月～ R7 年３月
燃料由来ＣＯ２排出量(kg-C02)原単位	188.2	186.3 目標(－1.0%)	186.3 目標(－1.0%)	186.3 目標(－1.0%)
産業廃棄物(t)原単位	0.35	0.34 目標(－1.0%)	0.34 目標(－1.0%)	0.34 目標(－1.0%)
産業廃棄物再資源化率	100%	100%	100%	100%
環境配慮施工の推進　実施率	100%	100%	100%	100%

４．環境経営計画及びその取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

（1）環境経営計画及びその取組結果とその評価

＜事務所＞

取組計画	取組結果	評価と次年度の取組
電力使用に伴う CO2 排出量削減 ・OA 機器省電力設定 ・OA 機器夜間、休日の主電源 OFF ・空調適温化 冷房時：室温 28 度程度 暖房時：室温 20 度程度 ・書類作成等の効率化	OA 機器の省電力設定、夜間、休日の主電源 OFF は、定着している。空調適温化についても概ね定着している。	電力使用量削減の余地は殆どない状況である。取組事項は、よく実施できている。次年度も、取組計画を継続して、出来るだけ効率良く書類作成等の作業を行う。
燃料使用に伴う CO2 排出量削減 ・エコドライブ 10 実施 ・移動の効率化	ムダなアイドリングをしないことは、定着している。	エコドライブ 10 は、概ね実施できているが山間部移動が多いため加減速の繰り返しとなり難しい。次年度も、移動の効率化に積極的に取り組む。
一般廃棄物排出量削減 ・使い捨て製品の使用や購入の抑制 ・製品の長期使用 ・コピー用紙のムダ削減	保管書類の整理が定着し、カタログや保管書類の廃棄が少なくなっている。	カタログや廃棄書類等が減ったことにより大幅に削減できた。 使い捨て製品の購入が少なくなり、事務用品等の長期使用も概ねできている。印刷前の確認ができており、コピー用紙のムダが少なくなってきている。次年度も継続していく。
節水チェック実施（水使用量削減） ・日常的な節水励行 ・節水チェック	谷水使用のため、使用量は把握できないが、節水は定着している。	取組事項は、節水意識が向上したことにより、概ね実施できている。水使用量削減に繋がっていると思われる。次年度も継続していく。
事務用品のグリーン購入実施 ・機能が同等の場合は、積極的にエコ商品選択	事務用品購入時にエコ商品を積極的に購入できている。	取組事項は、グリーン購入への意識が向上したことにより、概ね実施できていた。 次年度も、継続してグリーン購入に努める。

＜建設現場＞

取組計画	取組結果	評価と次年度の取組
燃料使用に伴う CO2 排出量削減 ・長時間作業中断時のエンジン停止 ・定期的な点検整備の実施 ・建設機械等作業時の過負荷運転防止 ・作業の段取りをよくする。（効率化）	作業中断時のエンジン停止、点検整備は定着している。建設機械の過負荷運転防止についても概ね実施できている。作業の段取りもよくなっている。	取組事項については、概ね定着してきた。次年度も、取組計画を継続して削減に努める。特に作業の効率化に積極的に取り組む。
産業廃棄物排出量削減/再資源化維持 ・残余資材の再利用、転用 ・手直し工事、やり直し工事の防止	残余資材の再利用、転用は定着している。手直し工事、やり直し工事防止も概ねできている。	再資源化も確実に実施できている。取組事項については、概ね実施できていた。次年度も継続して削減及び再資源化に努める。
環境配慮施工実施 ・環境配慮型建設機械の使用 ・周辺環境に配慮した施工計画立案 ・環境負荷の少ない資材、工法の提案 ・労働安全衛生管理の充実	排ガス対策、低騒音の使用は定着している。施工計画書作成時に環境対策についても検討している。環境負荷の少ない資材、工法の提案は難しい。	取組事項については、低騒音型建設機械の使用は出来ている。また、周辺環境に配慮した施工計画についても概ね実施できているが、環境負荷の少ない資材、工法の提案は難しい。労働安全衛生管理は、概ね計画したとおり実施できている。次年度も継続して環境配慮施工に努める。

（2）次年度の環境経営計画

＜事務所＞

取組計画	日程	責任者
電力使用に伴う CO2 排出量削減 ・OA 機器省電力設定 ・OA 機器夜間、休日の主電源 OFF ・空調適温化 冷房時：室温 28 度程度 暖房時：室温 20 度程度 ・書類作成等の効率化	通年 通年 冷房：6～9 月、暖房：12～3 月 通年	中西
燃料使用に伴う CO2 排出量削減 ・エコドライブ 10 実施 ・移動の効率化	通年 通年	運転者
一般廃棄物排出量削減 ・使い捨て製品の使用や購入の抑制 ・製品の長期使用 ・コピー用紙のムダ削減	通年 通年 通年	全従業員
節水チェック実施（水使用量削減） ・日常的な節水励行 ・節水チェック	通年 6 月、9 月、12 月、3 月	全従業員 中西

＜建設現場＞

取組計画	日程	責任者
燃料使用に伴う CO2 排出量削減 ・長時間作業中断時のエンジン停止 ・定期的な点検整備の実施 ・建設機械等作業時の過負荷運転防止 ・作業の段取りをよくする。（効率化）	 通年 使用前、月次、年次 通年 通年	 運転者 点検担当者 運転者 全従業員
産業廃棄物排出量削減/再資源化維持 ・残余資材の再利用、転用 ・手直し工事、やり直し工事の防止	 通年 通年	 作業員 主任技術者
環境配慮施工実施 ・環境配慮型建設機械の使用 ・周辺環境に配慮した施工計画立案 ・環境負荷の少ない資材、工法の提案 ・労働安全衛生管理の充実	 通年 施工計画時 施工計画時 施工中	 現場代理人 主任技術者 主任技術者 安全担当者

５．環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制等は次の通りである。

適用される法規	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法	マニフェストの管理・委託契約等	適法
建設リサイクル法	特定建設資材の再資源化等	適法
騒音規制法	指定区域の確認、事前届出、規制値遵守等	適法
振動規制法	指定区域の確認、事前届出、規制値遵守等	適法
資源有効利用促進法	製造業者等への引渡し、リサイクル費用支払い	適法
道路交通法	所轄警察署への届出等	適法
道路運送車両法	日常定期点検、定期点検整備等	適法
道路法	道路管理者への届出等	適法
浄化槽法	水質検査受検、点検・清掃の実施	適法
フロン排出抑制法	簡易点検、記録保存、廃棄時フロン引渡し、回収依頼書又は委託確認書を交付	適法
徳島県生活環境保全条例	特定建設作業に関する指定区域の確認、事前届出、規制値遵守等	適法
徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	事業者の責務、環境マネジメントシステムの導入、製造等における温室効果ガス排出抑制	適法

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。
創業以来、法違反や訴訟もありません。

６．代表者による全体評価と見直し・指示の結果

実施日：令和４年５月９日

見直し項目	環境経営方針	変更有：グリーン購入定着のため除く。
	環境経営目標・環境経営計画	変更有：第５期中期目標を策定すること。
	実施体制を含む環境経営システム	変更有：環境管理責任者は、代表者兼任。

《総括》

エコアクション２１の認証取得から概ね 11 年が経過し、従業員の環境保全意識が着実に向上しているように感じています。設定した環境経営目標目標は、全て達成しています。完成工事高が基準年より増えたにも係わらずムダの削減ができたことが達成要因です。当社は、受注した工事の規模、内容がまちまちで変動要素が多く、達成度評価が難しいのが現状です。　環境経営計画の実施状況については、省エネ・省資源に係わる基本的な取組は概ね定着していますので、基本的な事項は継続して今後も取り組んでいきます。さらに、各作業の効率化に重点をおいて活動を進めていくものとします。

今回の指示事項は、下記のとおりです。
・「第５期中期目標」を策定すること。
・各作業を段取り良く進めること。